

## 小豆沢病院のご紹介

財団法人日本医療機能評価機構  
認定病院(第 JC697 号)



管理型(医師)臨床研修病院  
東京都指定二次救急医療機関

**病床数** 134床 (一般病床94、療養病床40)

**標榜科** 《内科 外科 小児科 整形外科 眼科 皮膚科  
泌尿器科 神経内科 呼吸器科 消化器科 循環器科  
こう門科 リハビリテーション科 放射線科》

### 主な施設基準など

#### 【基本診療料の施設基準等】

- 一般病棟入院基本料区分7対1、重症加算
- 療養病棟入院基本料2、8割未満  
回復期リハビリテーション病棟入院料算定
- ◇臨床研修病院入院診療 ◇医療安全対策
- ◇診療録管理 ◇救急医療管理
- ◇栄養管理実施
- ◇亜急性期入院医療管理 ◇電子化

#### 【食事療養・特掲診療科】

- ◇入院時食事療養(Ⅰ)◇薬剤管理
- ◇運動器・呼吸器リハ(Ⅰ)・脳血管疾患等リハ(Ⅱ)
- ◇検体検査管理(Ⅰ)◇肝切除等(区分2カ)
- ◇食道再建術等 ◇輸血管理加算(Ⅱ)

### 介護保険法に基づく指定事業者届出

居宅介護支援事業所  
通所リハビリテーション

## 健康文化会の医療と介護のネットワーク

小豆沢病院と介護老人保健施設(志村さつき苑)、7つの医科診療所、1歯科診療所、7つの訪問看護ステーション、3つのヘルパーステーションのネットワークで切れ目のない医療と福祉をめざし、「安心して住み続けられるまちづくり」を健康友の会や地域の皆さんと一緒にすすめています。

## 小豆沢病院・健康文化会の歴史

小豆沢病院の前身は、戦後間もない1946年、お金がなくても受けることのできる差別のない平等な医療をめざして労働者・地域の人々が協力してつくった東京自由病院です(板橋区清水町の米軍基地内にあり、朝鮮戦争を前に米軍と警察によって解散させられました)。東京自由病院の志は、その後、小豆沢診療所、小豆沢病院・健康文化会へと引き継がれ、差額室料をいただかない医療を継続し、現在に至っています。



## 回復期リハビリテーション病棟のご案内

### 回復期リハビリテーション病棟とは

回復期リハビリテーション病棟とは、主に脳血管疾患 又は脊髄損傷、大腿骨頸部骨折等の患者さまに対してADL能力の向上による、社会復帰、在宅復帰を目指し、早期かつ集中的なリハビリを提供することによって、寝たきり防止と日常生活動作の回復などを図ることを目的とする病棟です。

入院より、患者様の身体の機能チェックをさせていただき、リハビリテーション計画書を作成します。それに沿って、訓練・評価・その見直しを行います。

あずさわ  
医療法人財団健康文化会 **小豆沢病院**

東京都板橋区小豆沢一丁目6番8号

電話 03-3966-8411(代表)

ファックス 03-3966-0151

ホームページ [www.kenbun.or.jp](http://www.kenbun.or.jp)



(2007.04)

## 対象となる患者様

回復期リハビリテーション病棟には、入院対象となる疾患と、疾患ごとに定められた入院期間があります。

対象となる疾患	入院期間
(1) 脳血管疾患、脊髄損傷等の発症後、もしくは手術後2ヶ月以内の状態 (高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多発外傷の場合)	150日 180日
(2) 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、または膝関節等の骨折又は手術後2ヶ月以内の状態	90日
(3) 外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2ヶ月以内の状態	90日
(4) 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経・筋・靭帯損傷後1ヶ月以内の状態	60日

## Q&A

Q1：どんなときにでも入院できますか？

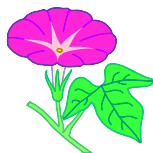
A1：回復期リハビリテーション病棟は入院する条件が決められています。まずはご相談ください。

Q2：回復期リハビリテーション病棟退院後はどのように療養するのでしょうか？

A2：ご病状に合わせてご自宅への復帰ができるように必要な準備を援助させていただきます。

Q3：年齢の制限はありますか？

A3：年齢の制限はありません。



## お申し込み・手続きの方法

○まず、ご相談下さい

小豆沢病院 医療連携室（日向寺）または  
5階病棟看護師長まで

Tel. 03-3966-8411(代)、Fax 03-3966-0151

平日：9:00～17:30

土曜日：9:00～12:30

当院では随時入院相談に応じております。  
電話で相談される方で、ご希望の方には当病院のパンフレット、案内等をご郵送いたします。  
来院していただく方には、病棟内を案内させていただきます。

## ご入院から退院までの流れ

医療連携室にご相談ください

外来受診・ご家族との面談

入院判定・入院日の決定

診療情報提供書を主治医の先生にお願いしてください

ご入院・リハビリ開始

評価

リハビリの状況に合わせて患者様やご家族と今後についての話し合いを重ねていきます。

ご自宅や施設などへのご退院



## その他ご入院に当たって

面会 平日 午後3時～午後8時

土日・祭日 午後1時～午後8時

設備等 コインランドリー、公衆電話など

禁止事項

飲酒、館内での喫煙、営利行為、迷惑行為など

※所持品等の持ち込みは最小限でお願いします。  
※金銭・貴重品は患者様・ご家族様の管理です。  
※この病棟では、急性期状態を回復し、全身状態が安定した患者さまのリハビリを行います。  
入院中に病状が悪化し、検査や、治療を要する場合は、一般病棟へ移る場合があります。  
※医療保険での医療費負担の他に、必要に応じて診断書・文書料、インフルエンザなど予防接種・予防投薬料、日常生活に関わる費用の実費、理容代、教養娯楽費等が、別途発生します。  
○当院では差額室料はいただいております

## 苦情やご意見・ご相談は下記へ

- 5階病棟看護師長
- 「苦情等相談窓口」
- 「医療相談室」:医療や福祉の相談
- 「ほほえみポスト」への投書
- 行政の相談窓口
- 病院総合受付や最寄りの職員にお気軽にお問い合わせください。